

## 「東北の次世代観光交流」研究グループ 第3回研究集会

2019年未からの新型コロナウイルスの感染拡大によって、東北の観光も大きく変わり、次世代の観光交流を考えるための整理が必要になっています。「東北の次世代観光交流」研究グループでは、これまでの研究成果をまとめ、下記の研究集会をオンライン（Zoom）で開催致します。

参加御希望の方は、件名を「研究集会出席希望」とし、所属、氏名を記したメールを山田まで送信して頂きますようお願い致します。開催日前日までにZoomの入室情報をお伝え致します。

————— 記 —————

### 「東北の次世代観光交流」研究グループ 第3回研究集会 ニューノーマル時代の観光を目指す地域の変容

日時：2022年2月19日（土）  
13：00～16：30 オンライン（Zoom）開催

内容：「観光の組織化」によって変容した東北地方の地域構造変容の実態を明らかにし、Post COVID-19に向けた今後の方向性を議論する。

#### 次第

1. <開会あいさつ>13：00～13：05  
山田浩久（山形大学）
2. <趣旨説明> 13：05～13：15  
山田浩久（山形大学）  
東北の次世代観光と地域構造
3. <研究報告 第1部>13：15～14：35  
ニューノーマル時代における東北の地域構造を考える  
山田 浩久（山形大学）：COVID-19 感染前の東北地方の地域構造  
初澤 敏生（福島大学）：COVID-19 の流行に伴う教育旅行の地域構造変化  
宮原 育子（宮城学院女子大学）：ジオパークにおけるボトムアップの観光まちづくり  
中澤 信幸（山形大学）：日台交流の現状と課題
4. <休憩>14：35～14：45
5. <研究報告 第2部>14：45～16：05  
ニューノーマル時代に向けた地域の試み  
山口 泰史（熊本学園大学）：冬の地域資源を活用した観光イベントによる地域の変容  
岩動志乃夫（東北学院大学）：東日本大震災後の本設商業施設への来訪者特性とその評価  
吉田 樹（福島大学）：観光による地域公共交通の変化  
榎引 素夫（青森大学）：青函圏の地域間交流の変化
6. <総合討論>16：05～16：30

参加御希望の方は、件名を「研究集会出席希望」とし、所属、氏名を明記したメールを下記山田まで送信願います。開催日前日までに、山田からZoomの入室情報をお伝え致します。

連絡先：

山形大学 人文社会科学部 山田浩久

E-mail [hyamada@human.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:hyamada@human.kj.yamagata-u.ac.jp)